

仙台厚生病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
 通常の診療で得られた過去の診療情報や残存検体等を使用して行われます。このような研究は、
 国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、
 研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開する事が必要とされています。また、研究結果を
 学会等で発表する事がありますが、個人を特定する情報は公開されません。

研究課題名	総大腿動脈の治療の現状と臨床成績に関する後ろ向き研究 (CAULIFLOWER研究)
当院の診療科・研究責任者	循環器内科 堀江 和紀
他の研究機関	札幌時計台記念病院、札幌心臓血管クリニック、札幌医科大学附属病院、仙台厚生病院、坂総合病院、東北大学病院、山形大学病院、いわき市医療センター、福島厚生会福島第一病院、東京医科大学茨城医療センター、筑波メディカルセンター、土浦協同病院、虎の門病院、慶應義塾大学、総合東京病院、東京医療センター、東京都済生会中央病院、飯橋中央総合病院、東京医科大学、東京医科大学付属病院、心臓血管研究所付属病院、東京女子医科大学東医療センター、TORS訪問診療所城南、TORS訪問診療所三鷹、春日部中央総合病院、上尾中央総合病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、新東京病院、行徳総合病院、亀田総合病院、順天堂浦安病院、国保旭中央病院、新百合ヶ丘総合病院、大和成和病院、湘南鎌倉総合病院、済生会横浜市東部病院、総合新川橋病院、うわまち病院、廣瀬共済病院、総合高津中央病院、太田記念病院、静岡赤十字病院、信州大学医学部付属病院、佐久市立民間総合病院、名古屋大学、岐阜県総合医療センター、岸和田徳洲会病院、関西ろうさい病院、森ノ宮病院、大阪急性期総合医療センター、松本病院、京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、洛和会九人町病院、奈良県立医科大学病院、倉敷中央病院、JA広島総合病院、九州大学病院、福岡大学病院、福岡和自病院、熊本労災病院、済生会福岡総合病院、済生会唐津病院、宮崎市医師会病院
本研究の目的	末梢動脈疾患は、足の動脈の閉塞・狭窄による血流障害を起こす疾患です。近年の道具や技術の進歩により、カテーテルで治療できる範囲は広がりました。しかし、足の付け根に当たる「総大腿動脈」については手術治療が第一選択です。しかし、実臨床においてはカテーテル治療が行われる場合もあり、欧米からはカテーテル治療の効果を示す報告もあります。総大腿動脈における手術治療とカテーテル治療の成績をしっかりと評価し、今後の診療に生かすことはとても重要です。そこで、当院を含む全国の医療機関で、総大腿動脈に治療を受けた患者さんにご協力いただき、総大腿動脈の治療後の経過を把握する研究を行うこととしました。
研究期間	2020年から2023年12月31日
研究の方法（対象となる方）	総大腿動脈病変に対し、外科的治療もしくはカテーテル治療を受けた患者さんの予後を追跡調査することを予定しております。
研究の方法（利用する情報）	患者さんの病歴や基礎疾患、術後の臨床的経過を上記医療機関で共有し、上述の二種類の治療の有効性を評価することを予定しております。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報 は削除致します。 (利用する情報に個人を特定する情報は一切含まれておりません。) 研究結果を学会等で発表する可能性がございますが、 その際も対象者を特定できる個人情報は使用致しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	研究への利用を拒否する場合等の連絡先 【電話】 022-222-6181 【担当者】 循環器内科 堀江 和紀
備考	